

所属・資格 社会福祉学科・准教授

申請者氏名 後藤 広史

研究課題		生活困窮者に対する支援の効果検証に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	本研究の目的は、生活困窮者、特にホームレス状態にある人々に対する支援の効果について数量的に明らかにすることである。近年社会的な問題の高まりから、ホームレス状態にある人々に代表されるような生活困窮者の実態を明らかにする研究が蓄積されつつある。しかしながら、どのような支援が効果的なのかということについては、エビデンスが不足している。本研究ではこの点を踏まえ、ホームレス自立支援センターに焦点を当て、そこでの支援記録をデータベース化し、効果的な支援の在り方について数量的に明らかにする。最終的にはそれに基づいた「自立支援プログラム」を構築することを目指す。
	研究の結果	本年度は引き続き、あるホームレス自立支援センターの協力を得て、支援記録のデータベース化を行った。これまでで500件のデータが蓄積された。 残念ながら、本年度はこのデータに基づいた論文を執筆を行うことができなかったが、この一部を分析し、研究会で報告を行った。来年度は、今年度まで収集できたデータを用いて論文文化をすることで現場との合意が取れている。なおデータは今後も引き続き収集し、支援に活用する予定である。
	研究の考察・反省	上記データは現場職員に入力していただいております、その人的負担が問題となっていた。今年度は、これまでの実績に基づいて科研費の申請を行うことができた。採択されれば、この問題は解決できると思われる。 またこの間データの収集を急ぐあまり、その中身や整合性についてきちんと検証できてこなかった。次年度はデータ収集をいったん区切り、クリーニングを行い文章化を目指したい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究発表： The Unique Characteristics and Structure of the San'ya Neighborhood: An Analysis from Perspective of the Livelihood Protection System, Refuge Neighborhoods: Service Hubs and Homelessness in the US and Japan, 2019 in Maimi, U.S.A ホームレス問題・山谷地域の変容と地域医療 ―山友会クリニックの実践から―, 第61回日本病院・地域精神医学会 シンポジウム：山谷・寿町ドヤ街の地域医療	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者
	生活困窮者支援とソーシャルワーク：就労自立支援サービスを中心にして、同志社大学社会福祉教育・研究支援センター 2018年度 連続公開セミナー「貧困問題と就労自立支援サービス再考」	研究成果物： よくわかる社会福祉の「経営」(分担執筆) 文献紹介：黒木保博監修「世界の子どもの貧困対策と福祉関連QOLー日本、韓国、イギリス、アメリカ、ドイツ」, 社会福祉学 59 (4)